



★「認知症サポーター」って何をするの？

「認知症サポーター養成講座」を受けた人が「認知症サポーター」です。
認知症サポーターとは、何かを特別にしなければならないというのではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。自分のできる範囲で活動できればいいのです。たとえば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちによりそう、など活動内容は人それぞれです。出来ることを出来る範囲で取り組むことが地域の大きな支えとなります。

★「認知症サポーター養成講座」って？

認知症の正しい理解・啓発のため、メイト（スタッフ）が出向いて講座を開催！

「認知症とは何か」「認知症の人にどのように接すれば良いか」などについて、寸劇や紙芝居を交えながらわかりやすく説明します。

● 内 容 「認知症とは？」「認知症の人への接し方」の解説など

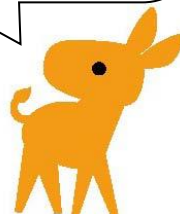
● 時 間 1 時間 3 0 分
(ただし、対象者が高齢者のみの場合は1時間でも可)

● 対 象 認知症に関心のある方ならどなたでも
※ 会場をご用意のうえ、5名以上でお申し込みください

● 費 用 無 料

※ 出前の可能な日時は、月～金曜日（平日）午前8時30分～午後5時、
土日祝日や時間外の開催については応相談。

講座修了者には、
サポーターの証を
差し上げます！



お申込み・お問合せ

水口地域	甲賀市社協水口センター	TEL : 76-3287
土山地域	〃 土山センター	TEL : 66-2001
甲賀地域	〃 甲賀センター	TEL : 88-2942
甲南地域	〃 甲南センター	TEL : 86-6035
信楽地域	〃 信楽センター	TEL : 82-8031



現在の日本の状況は？

85 歳以上では 4 人に 1 人が認知症の症状があるといわれています。

非常にたくさんの方が認知症になっておられ、自分の家の近所やお店などで、認知症の方と接する機会が増えます。

認知症の方はどんな症状が出るの？

普段の生活の中で少しずつできないことが増えていきます。

- 例えば
- ・一度にたくさんのことを言われるとうまく処理ができなくなる。
 - ・今何時なのか、今日は何日なのか、季節等もわからなくなる。
 - ・道に迷ったり、家のトイレの場所がわからなくなったりする。

等があります。



認知症の方と接した時、自分はどう対応すればいいの？

正しい知識を持っていれば、少し手助けをするだけで認知症の方とも仲良く暮らすことができます。

認知症サポーター養成講座で学んでみましょう！



対応例① <市民様用>

お隣の A さんは息子夫婦と同居。
A さんに、寄合の日時や場所を口頭で伝えた。



A さんは認知症で、一度にたくさんのことを言われるとわからなくなってしまう。
何を聞いたのかすっかり忘れてしまった。



寄合のことが家族に伝わらなかった。



お隣の A さんは認知症であると聞いている。
「〇月〇日〇時に〇〇の場所で寄合をします」と書いた紙を手渡し、息子夫婦に渡してもらおうと伝えた。



A さんはその紙を家族に渡し、家族は寄合に参加することができた。



周りの方のサポートで A さんだけでなく A さんの家族も安心することができる。

対応例②

B さんは一人暮らし。
B さんは認知症で今日が何日なのか何曜日なのかわからず、燃えるゴミの日に他のゴミを持って来たりしてしまう。



B さんは、ゴミの出し方がわからなくなっている。



近所の方も B さんの家にゴミがたまっているようで気になっている。



一人暮らしの B さんが認知症であると聞いている。B さんに、近所の方が「今日は燃えるゴミの日やで～！」と玄関先で一言伝えた。



B さんは一言かけてもらい、燃えるゴミを決まった日に出すことができた。



周りの方のサポートで B さんの不安を少しやわらげることができる。